



©2005 石塚真一/小学館

第 248 号(令和4年(2022 年)1月 13 日)

信州の山岳遭難現場と全国の登山者をつなぐ
特別隊員

島崎 三步 の「山岳通信」

この通信は長野県の山岳地域で発生した遭難事例をお伝えし、「安全登山」のための情報提供をしています。(詳細は以下のとおり)

長野県では、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため「入山注意報」を発表しています。

長野県 山岳情報サイト <https://www.pref.nagano.lg.jp/kankoki/sangaku/index.html>

天気・防災情報 <https://www.jma-net.go.jp/nagano/>

を確認し万全の準備で入山を！

長野県警山岳安全対策課からのワンポイントアドバイス

1 月 2 週は 3 連休を中心に 5 件の遭難が発生しました。冬山登山では滑落防止のため歩行時にアイゼンを装着しますが、アイゼン歩行は前爪等をひっかけて転倒したり、いつもよりも靴底が高くなるため捻挫しやすい等の危険性があります。また靴の重量が増すために足に疲労がたまりやすくなります。「アイゼン歩行＝危険地帯」という認識を持つとともに、歩行時には普段との違いを意識して慎重な足運びを心がけてください。また、バックカントリー中の道迷いも 2 件発生しています。スキーやスノーボードで誤った方向へ入り込んでしまうと、復旧は非常に困難です。事前に地図等でエリア全体をよく確認してから滑走してください。また、緊急時に備えシェルター、コンロ、行動食等を必ず携行しましょう。

発生状況

日付	場所	年齢	性別	態様	死傷別	概要
1 月 4 日	中央アルプス 宝剣岳	47	男	道迷い	無事救出	単独で宝剣岳から下山中、道に迷い、行動不能
3 日から中央アルプスに入山し、山荘に宿泊していた男性(47 歳)が、4 日、山荘を出発後に行方不明となり、8 日、山岳遭難救助隊員、駒ヶ根警察署山岳遭難救助隊員、中央アルプス地区山岳遭難防止対策協会救助隊員及び県警ヘリが出動し、男性を発見・救助しました。						
1 月 9 日	八ヶ岳連峰 赤岳鉱泉	46	女	その他	負傷	2 人パーティで中山乗越から赤岳鉱泉に向けて下山中、負傷
9 日、2 人パーティで八ヶ岳連峰に入山した女性(46 歳)が、バランスを崩して負傷する山岳遭難が発生し、茅野警察署山岳遭難救助隊員が出動して女性を救助しました。						
1 月 9 日	中央アルプス 千畳敷	46	男	転倒	負傷	2 人パーティで八丁坂付近を千畳敷に向けて下山中、転倒、負傷

9日、2人パーティで中央アルプスに入山した男性(46歳)が、千畳敷カールの八丁坂付近を下山中に転倒して負傷し、行動不能となる山岳遭難が発生し、駒ヶ根警察署山岳遭難救助隊員及び県警ヘリが出動し、男性を救助しました。



1月9日	毛無山	35	男	道迷い	無事救出	2人パーティでスキー場コース外を滑走中、仲間とはぐれて道に迷い、行動不能
<p>9日、下高井郡野沢温泉村のスキー場で、友人とともにスノーボードをしていた男性(35歳)が友人とはぐれて連絡がとれなくなる山岳遭難が発生し、飯山警察署員、志賀高原地区山岳遭難防止対策協会救助隊野沢温泉班員、スキー場パトロール隊員が出動し、男性を発見・救助しました。</p>						
1月10日	毛無山	49	男	道迷い	無事救出	2人パーティでスキー場コース外を滑走中、道に迷い、行動不能
		45	男			
<p>10日、下高井郡野沢温泉村のスキー場から、コース外の下水内郡栄村の山林内を滑走していた男性2人(49歳及び45歳)が、道に迷い行動不能となる山岳遭難が発生し、11日、飯山警察署員、志賀高原地区山岳遭難防止対策協会救助隊員及びスキー場職員等が出動して男性らを救助しました。</p>						

令和4年(2022年)中の山岳遭難発生状況(令和4年(2022年)1月1日～1月10日)

区分	発生件数	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計	内)死傷者
令和4年(2022年)	6	0	0	3	4	7	3
令和3年(2021年)	0	0	0	0	0	0	0
前年同期比	+6	±0	±0	+3	+4	+7	+3
内)BC	+2	±0	±0	±0	+3	+3	±0

■山域別発生状況(令和4年(2022年)1月1日～1月10日)

区分	件数	件数 比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
北アルプス	槍穂高	0	0.0%	0	0	0	0
	後立山	0	0.0%	0	0	0	0
	その他	0	0.0%	0	0	0	0
	計	0	0.0%	0	0	0	0
中央アルプス	2	33.3%	0	0	1	1	2
南アルプス	0	0.0%	0	0	0	0	0
八ヶ岳連峰	2	33.3%	0	0	2	0	2
その他の山岳	2	33.3%	0	0	0	3	3
計	6		0	0	3	4	7

■態様別発生状況(令和4年(2022年)1月1日～1月10日)

区分	件数	件数 比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
転・滑落	1	16.7%	0	0	1	0	1
転倒	1	16.7%	0	0	1	0	1
病気	0	0.0%	0	0	0	0	0
道迷い	3	50.0%	0	0	0	4	4
落石	0	0.0%	0	0	0	0	0
雪崩	0	0.0%	0	0	0	0	0
落雷	0	0.0%	0	0	0	0	0
疲労凍死傷	0	0.0%	0	0	0	0	0
不明・他	1	16.7%	0	0	1	0	1
計	6		0	0	3	4	7

■男女別・年齢別比率(令和4年(2022年)1月1日～1月10日)

区分	男性					(人)	女性					(人)	男女計		
	死者	不明	負傷	無事	計	比率	死者	不明	負傷	無事	計	比率	人数	比率	
19歳以下	0	0	0	0	0	1 16.7%	0	0	0	0	0	0 0.0%	0	1 14.3%	
20代	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0		0		0
30代	0	0	0	1	1		0	0	0	0	0		0		1
40代	0	0	2	3	5	5 83.3%	0	0	1	0	1	0 100.0%	6	6 85.7%	
50代	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0		0		0
60代	0	0	0	0	0	0 0.0%	0	0	0	0	0	0 0.0%	0	0 0.0%	
70以上	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0		0		0
計	0	0	2	4	6		0	0	1	0	1		7		
比率	85.7%						14.3%								

内容は長野県警察本部の発表時点のものです。

* 本通信に関するご質問・ご意見は「長野県観光部山岳高原観光課」jmt-tourism@pref.nagano.lg.jpまでお寄せください。

＝発行：長野県山岳遭難防止対策協会＝